



寺林 俊幸
議員
(政清会)

問

幕別町における農業は良質な農畜産物の生産供給、環境保全など多面的な機能を持ち、幅広い産業と関係し、町の基幹産業となっている。しかし、近年の農業情勢はT P P交渉参加を始め、農畜産物の価格の低迷、担い手の減少と経営者の高齢化、それに伴う農地の流動化など多くの課題をかかえており農業を取り巻く環境は大きく変化している。

幕別町の農業・農村振興のために、農業経営の基盤強化はもとより、環境変化に対応できる担い手の確保が求められる。これからの農業・農村振興について伺う。

① 経営者の高齢化により、今後さらに農地の流動化が進む事が予想されるが、その対策について。

② 幕別町農業振興公社で行われている担い手対策事業(まくべつ農村アカデミー)、農業後継者花嫁対策事業の現状と今後の対策について。

③ 新しい時代への対応として農業

問

変化する農業・農村を維持するため
の担い手確保対策は

さまざま手法を講じながら対応して
いきたい

の法人化、また異業種交流などを通じての人材育成について。

町長

① 長期的展望に立った担い手や農地に関する課題を解決するため、来年度、「幕別町人・農地プラン」を策定し、継続的で力強い幕別町農業の実現のため、農地の出し手、受け手への支援や新規就農者への支援を盛り込み、町としては農業振興公社を通じ、農業委員会、各農協など関係機関・団体と連携の上、プランに沿って効率的な農地集積や新規就農者を含めた担い手の育成と経営安定化に努めていきたい。

② まくべつ農村アカデミーでは、1年間の短期農業研修を行った後、新規参入の意思確認とフロンティアコースへの移行の適否について、農業関係機関及び北海道指導農業者による審査を行い、合格した場合にフロンティアコースに進級し、3年間を標準として農業経営者と

しての知識や経験、さらには地域との信頼関係を身につけてもらっている。今後も関係機関と連携し

新規就農希望者を積極的に受け入れ、将来の幕別町農業を担う農業経営者、後継者の育成及び新規就農者の確保を図っていきたい。

農業後継者花嫁対策事業は「グリーンパートナー対策事業」として実施され、担い手専属アドバイザーがサポートや個別相談に応じ、できる限り多くのカップルが誕生するように取り組んでいる。

③ 農業経営の法人化は、法人形態によるメリット、デメリットや法人化の手続などについて、農協や農業改良普及センターなど農業関係機関と連携しながら、農業振興公社の研修事業の一環として取り組んでいきたい。

異業種交流は、農業者自身の視野や識見を広めるだけでなく、農商工連携や6次産業化など農畜産物の付加価値向上と、地域内の経

済循環形成に結びつく糸口となる活動と認識している。役員同士の交流や、研修事業の共同開催等を協議をした上で、実現可能なものから実施していければと考えている。

再質問

これからの農業に対して人材育成は欠かせない。異業種交流を通じて新たな創造が見込めるのでは。また担い手対策を必要なのは農業に限らず商工業においても重要な問題である。幕別町の全体の担い手対策をどう考えるか。

答 さまざまな手法を講じながら、そうした事業の目的に沿って、これからも公社としても、あるいは町としても対応していきたい。



花嫁対策事業の交流会でラフティング